

未来へつなぐ植物の記録

令和二年七月豪雨で被災した前原勘次郎の植物標本



写真提供：熊本県博物館ネットワークセンター

2021年

10月2日(土)～11月28日(日)

熊本博物館2階 特別展示室1・2・3

開館時間 9:00～17:00 (入場は16:30まで) 月曜休館

観覧料 熊本博物館入場料のみでご覧いただけます。

一般:400円(320円) 大学生・高校生:300円(240円) 中学生以下:200円(160円)

※()内は30名以上の団体料金。幼児、市内小・中学生は入場無料(名札、生徒手帳、入館カード、いずれかを所持する方)。また、障がい者手帳または65歳以上の熊本市民で証明書をお持ちの方は無料です。

主催 熊本博物館

後援 熊本日日新聞社 NHK熊本放送局 熊本放送 熊本県民テレビ 熊本朝日放送 テレビ熊本 FMK FM791

熊本県文化協会 熊本県博物館連絡協議会 熊本県教育委員会 一般財団法人熊本国際観光コンベンション協会

協力 人吉市教育委員会 熊本県博物館ネットワークセンター 熊本記念植物採集会

未来へつなぐ 植物の記録

令和2年7月豪雨で被災した 前原勘次郎の植物標本

令和2年7月豪雨により人吉城歴史館が浸水被害を受け、同館に所蔵されていた熊本出身の植物学者・前原勘次郎（1890-1975）によって収集された3万点を越える植物さく葉標本が被災しました。損傷や腐敗、カビの発生などによる標本の状態悪化を防ぐため、全国の博物館や大学などに緊急支援が呼びかけられ、クリーニングや乾燥、適切な条件下で保管などを行う標本のレスキュー活動が開始されました。本展では、当館が携わった標本レスキュー作業の様子や、前原氏が採集した貴重な植物標本を写真とともに展示いたします。



人吉城歴史館所蔵



被災した植物標本のレスキュー活動〈特別展示室1〉

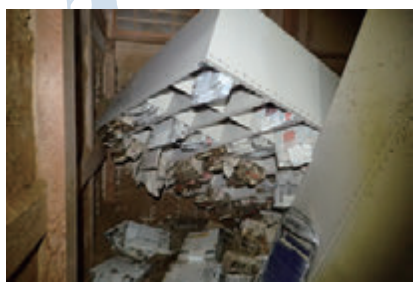
災害発生後に行われた取り組みや活動状況、当館が実施したレスキュー作業の内容や被災した標本について紹介します。

標本が伝える地域の自然〈特別展示室2〉

被災した標本の中から、おもに人吉や球磨地域で採集された標本を展示します。

未来へつなぐ熊本の植物〈特別展示室3〉

前原氏が熱心に収集した数多くの植物標本。当時から今も熊本に残る貴重な植物の標本を写真とともに紹介します。



提供：熊本県博物館ネットワークセンター

ミュージアムトーク（展示解説）

10月3日（日） 11月3日（水・祝） 14:00~14:30
13:45より受付開始、各回定員20名 特別展示室1にお越しください。

関連イベント（要事前申込。申込者多数の場合は抽選となります。）

① さく葉標本作成体験講座

植物の標本では最も代表的なさく葉標本。標本を作り、保存していくことの意義や重要性について紹介し、作り方を学びます。

10月16日（土） 14:00~15:00

会場：熊本博物館 実験・工作室 定員：20名

参加費：無料（ただし、当館入場料が必要です）

申込方法：往復はがき、または博物館 HP 申込専用フォームによりご応募ください（10月8日必着）。当選者には10月9日までにお知らせいたします。

② 押し花グッズを作ろう

さく葉標本と同じように乾燥させた植物を使ってオリジナルの缶バッジやキーホルダーを作ります。

11月7日（日） ①14:00~14:30 ②15:00~15:30

会場：熊本博物館 実験・工作室 定員：各回20名

参加費：無料（ただし、当館入場料が必要です）

申込方法：往復はがき、または博物館 HP 申込専用フォームによりご応募ください（10月29日必着）。当選者には10月31日までにお知らせいたします。

感染症予防対策

ご来館の際は、マスク着用や手指の消毒など、感染症予防対策にご協力をお願いいたします。新型コロナウイルス感染拡大状況によっては、会期やイベントを変更する場合がございます。最新の情報は、博物館ホームページやSNSをご確認いただくか、電話にてお問い合わせください。

交通アクセス

●バス

「熊本桜町バスターミナル」または「市役所前」下車、徒歩15分

熊本城周遊バス（しろめぐりん）で「博物館・旧細川刑部邸前」下車

●市電「杉塘」下車、徒歩5分

●博物館専用駐車場はありません。

近隣の三の丸駐車場（有料）等をご利用ください。

熊本博物館
KUMAMOTO CITY MUSEUM

〒860-0007

熊本中央区古京町3-2

TEL: 096-324-3500

FAX: 096-351-4257

https://kumamoto-city-museum.jp/



HP



Twitter

